

長野県「SDGs未来都市」計画（概要）

長野県企画振興部総合政策課

しあわせ信州創造プラン2.0
(長野県総合5か年計画 2018年度～)

<県の総合計画にSDGsの考え方がビルトイン>

- ✓概ね2030年の将来像を実現するための今後5年間の行動計画
- ✓SDGsの達成に寄与するもの

【長野県の特性】

- ・豊かな自然環境
- ・多様な個性を持つ地域
- ・自主自立の県民性
- ・全国トップレベルの健康長寿
- ・大都市圏からのアクセスの良さ

【基本目標】

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

「確かな暮らし」:「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方にも呼応
「美しい」:豊かな自然や農山村の原風景などの美しさ

【2030年のめざす姿】

- ・学びの県
- ・産業の生産性が高い県
- ・人をひきつける快適な県
- ・いのちを守り育む県
- ・誰にでも居場所と出番がある県
- ・自治の力みなぎる県

持続可能な地域づくり

学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」

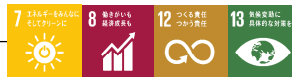
ステークホルダーが主体的に学び、協働しながら地域の課題解決に取り組み、多様な地域の個性を活かす自立・分散型社会をめざす。

<優先的に取り上げるゴール>



誰もが学べる環境づくり

- 信州こどもカフェの普及拡大
 - 学習支援や食事提供、悩み相談
 - 学用品リユース・冷暖房等の集約
 - 親の安定就労・将来の産業人材の育成・確保
- 信州・タウンキャンパス構想の実現
 - 現場やオンラインで時と場所を選ばない学びの提供
 - シニア大学での学びによる高齢者の起業促進
 - 県認定講座の実施による環境保全を担う人材の育成



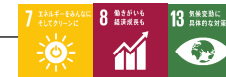
地域内経済循環の促進

- エンカル消費の促進
 - 消費者のニーズに応じた農畜産物等を生産する「地消地産」の拡大
 - 輸送距離短縮による環境負荷低減
 - 就労の場確保による障がい者の活躍支援
- 再生可能エネルギー100%地域実現
 - 豊富な自然資源の有効活用
 - 地域外の化石資源への依存による資金流出防止
 - 環境エネルギー分野の産業創出による雇用確保



快適な健康長寿のまち・むらづくり

- 自家用車に頼らない地域づくり
 - 公共交通の活性化
 - 高齢者の生活の足の確保
 - CO2削減による気候変動リスク低減
- 省エネ建築による断熱性能向上促進
 - 省エネルギーの促進
 - ヒートショック防止による健康寿命の延伸
 - 地元建築業者の所得向上



豊富な自然エネルギー資源を活かしたエネルギー自立・分散型モデル地域の形成

- 地域の自発的な自然エネルギー普及
 - 付加価値の高い産業づくり
 - 中山間地域のコミュニティ維持
 - 低所得者・子どもの貧困対策
 - CO2削減による気候変動リスクの低減

推進体制

(庁内)知事をトップとする部局長会議で推進
(庁外)・県、市町村、経済界、有識者等で構成するオール信州での推進体制を構築
・SDGs地域コンソーシアムで企業のSDGs活用支援手法を研究(関東経産局との連携)

軽井沢のG20
エネルギー・環境
関係閣僚会合等
での発信



G7軽井沢交通大臣会合(2016)